

農林水産業

農家数

平成22年2月1日現在（2010年世界農林業センサス）の総農家数は5万2,355戸で、前回調査の平成17年（2005年農林業センサス）に比べ7,342戸（12.3%）減少しました。総農家数を自給的農家と販売農家の別にみると、自給的農家は1万9,390戸、販売農家が3万2,965戸で、前年に比べ自給的農家が456戸（2.3%）、販売農家は6,886戸（17.3%）減少しています。

販売農家を主副業別にみると、主業農家が3,218戸（構成比9.8%）、準主業農家が7,797戸（同23.7%）、副業的農家が2万1,950戸（同66.6%）となっています。

図14 総農家数の推移

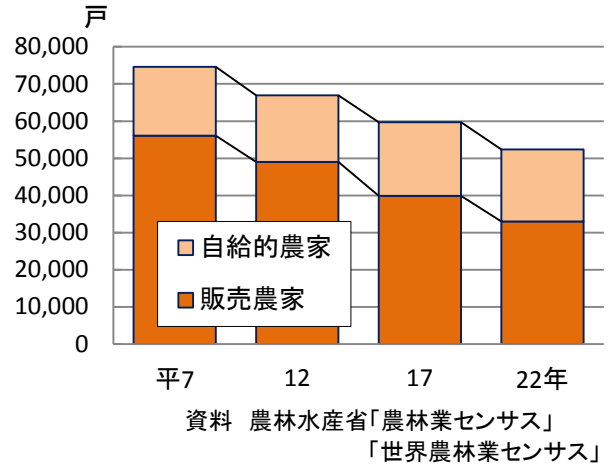
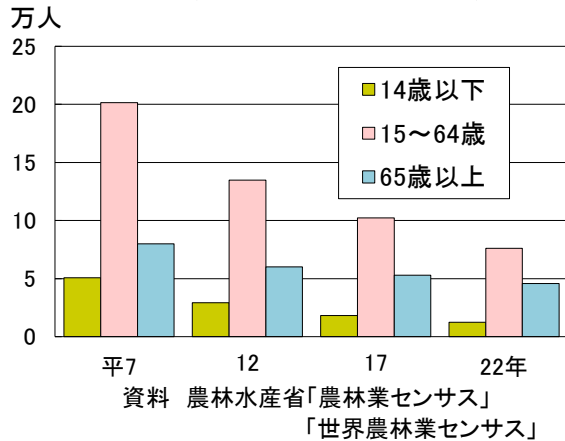


図15 農家人口の推移(販売農家)



農家人口(販売農家)

平成22年2月1日現在（2010年世界農林業センサス）の農家人口（販売農家）は13万4,284人で、前回調査の平成17年（2005年農林業センサス）に比べ3万9,101人（22.6%）減少しています。

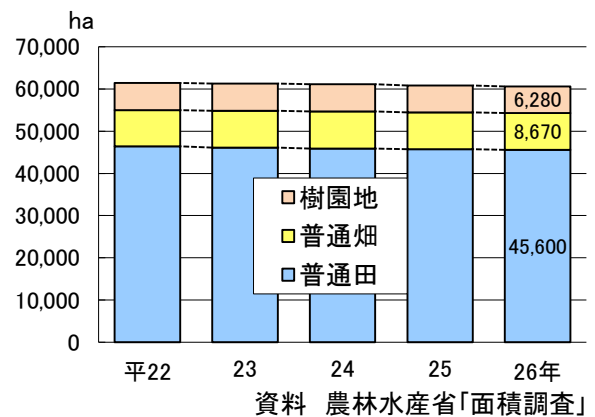
年齢別では、14歳以下が1万2,447人（構成比9.3%）、15~64歳が7万6,069人（同56.6%）、65歳以上が4万5,768人（同34.1%）で、平成17年に比べ、14歳以下が5,730人、15~64歳が2万6,153人、65歳以上が7,218人の減少となっています。

耕地面積

平成26年の耕地面積は6万600haで、前年に比べ300ha（0.5%）減少しました。

種類別にみると、普通田が4万5,600ha、普通畑が8,670ha、樹園地が6,280haで、前年に比べ普通田が100ha（0.2%）、普通畑は50ha（0.6%）、樹園地は100ha（1.6%）減少しました。

図16 種類別耕地面積の推移



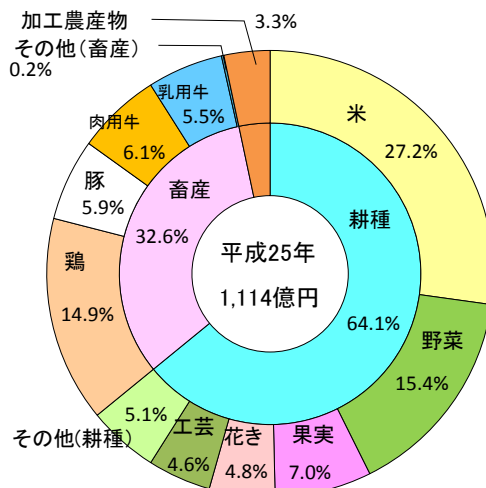
農業産出額

平成25年の農業産出額は1,114億円で、前年に比べ8億円（0.7%）減少しました。

種別割合をみると、耕種64.1%、畜産32.6%、加工農産物3.3%となっています。

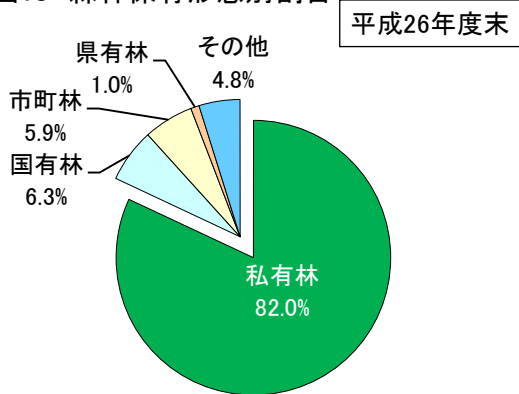
また、品目別では米が最も多く303億円（構成比27.2%）で、以下、野菜172億円（同15.4%）、鶏166億円（同14.9%）、果実78億円（同7.0%）などとなっています。

図17 農業産出額の品目別構成比



資料 農林水産省「生産農業所得統計」

図18 森林保有形態別割合



資料 県森林・林業経営課

林業

平成27年3月末現在の森林面積は37万2,432haでした。

保有形態別にみると、私有林が82.0%と大半を占め、以下、国有林6.3%、市町林5.9%、県有林1.0%などとなっています。

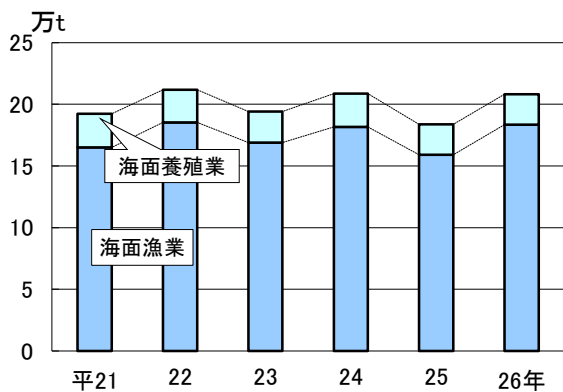
また、民有林のうち人工林面積は21万8,036haで、天然林面積は12万3,258haとなっています。

漁業

平成26年の漁業総生産量のうち、海面漁業は18万3,420tで、前年に比べ2万4,332t（15.3%）増加しました。海面養殖業は2万4,765tで、前年に比べ52t（0.2%）増加しました。内水面漁業は360tで前年に比べ48t（11.8%）減少、内水面養殖業は314tで32t（11.3%）増加しました。

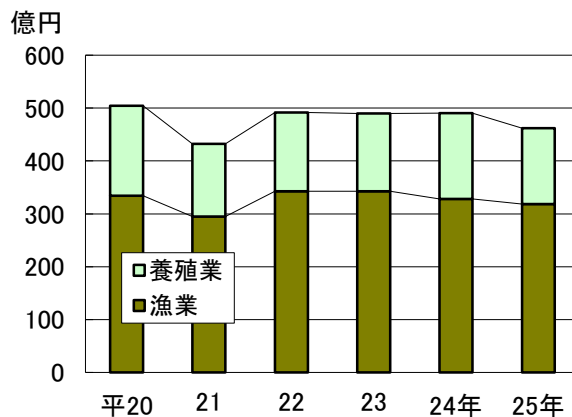
また、海面漁業の25年の生産額は318億5,500万円で、前年に比べ9億5,000万円（2.9%）減少しました。海面養殖業の生産額は143億5,700万円で、前年に比べ18億4,600万円（11.4%）減少しました。

図19 漁業生産量(海面)の推移



資料 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

図20 漁業生産額(海面)の推移



資料 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」